

施策番号	2001		
施策名	世界トップレベルの使いやすさをめざした公共交通の再編強化		
概要	市内で運行する交通事業者等の連携によるネットワークを構築し、さらなる鉄道、バスの利便性向上策などを実施するとともに、バリアフリー化の推進、公共交通不便地域や観光シーズンにおける交通対策の強化などを実施する。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	バリアフリー整備が完了した駅数(駅)	-	a	33	33	33	100.0%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数
1	京都での移動には、公共交通が便利である。	b	b	120	159	87	58	44	468
				25.6%	34.0%	18.6%	12.4%	9.4%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	b	
(重み付けの理由) この施策は、市民生活における公共交通に対する満足感を高めることが目的であるので、市民生活実感評価を重視する。						29年度
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						B
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						28年度
						B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助	100,122	81,431	普通	都市計画局
2	地方バス路線維持に係る補助金	7,364	9,211	良い	都市計画局
3	京北ふるさとバスの運行補助	56,210	36,487	かなり良い	都市計画局
4	京都未来交通イノベーション研究機構の運営	14,681	12,878	良い	都市計画局
5	関西国際空港全体構想の推進	1,276	1,274	—	都市計画局
6	近畿圏総合交通体系調査	14,014	15,456	—	都市計画局
7	JR奈良線複線化第二期事業	617	617	—	都市計画局
8	鉄道施設安全対策事業	27,852	22,124	—	都市計画局
9	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	442,021	655,818	—	都市計画局
10	京都における自動運転技術の社会実装に向けた研究(政策枠)	0	6,391	—	都市計画局
11	リニア・北陸新幹線の誘致推進	28,330	24,039	普通	総合企画局
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・バリアフリー化を推進し、公共交通の利用を促進するため、平成30年度は新たに桃山駅(JR西日本)のバリアフリー化整備や京都駅(在来線の一部ホーム)の可動式ホーム柵の整備に着手する。
- ・併せて、鳥羽街道駅(京阪)のバリアフリー化を図るため、同駅が含まれる東福寺地区の「基本構想」改訂のための連絡会議を開催し、地域住民や利用者団体等を交えて検討する。
- ・また、交通事業者等と連携し、公共交通の利便性を向上させる施策や、ネットワークの構築等を実施し、京都に住まい、また京都を訪れる全ての人が安心・安全、快適・便利に利用できる公共交通を構築する。

施策名	2001	世界トップレベルの使いやすさをめざした公共交通の再編強化				
指標名	バリアフリー整備が完了した駅数（駅）					
担当課	歩くまち京都推進室		連絡先	2 2 2－3 4 8 3		
1 指標の説明						
平成14年10月に策定した「京都市交通バリアフリー全体構想」及び平成24年3月に策定した「「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」で選定した重点整備地区内の36駅のうち、「移動等円滑化基本構想」に基づくバリアフリー化整備が完了した駅数						
2 指標の意味						
すべての人にやさしい駅として、バリアフリー化される施設整備の進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 28年度	最新数値 29年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	33	33	増減なし	33	平成32年度の目標達成のために当該年度に達成すべき数値	100.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		36	32年度	91.7%	重点整備地区内の駅(36)のうち、バリアフリー化整備が完了した駅の割合	
5 評価基準						
単年度目標値に対する達成度が a：100%以上 b：75%以上100%未満 c：50%以上75%未満 d：25%以上50%未満 e：25%未満						
6 基準説明						
単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下25%単位で基準設定した。						
7 評価結果						
28		29		30		
-		a		a		